



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754  
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>  
共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)

第418号  
2019年8月19日  
発行  
日本共産党  
八千代市議会議員団  
八千代市大和田新田  
312-5

## 東葉高速鉄道の決算、営業利益は61億円に

東葉高速鉄道のH30年度決算によると、輸送人員は開業以来最高となる5681万人（前年度比2.0%増）となり、1日の平均利用客数は15万7千人（昨年度は15万4千人）と前年度比で3千人増となっています。

運輸収入は過去最高の159億6千27万円（前年度比1.6%増）となり、ここから運送費や減価償却などを差し引いた営業利益は61億7千万円（前年度比6.0%増）となり、初めて60億円台を達成しています。

さらに、支払利息（約24億円）などを差し引いた経常利益約36億円、その結果、当期純利益は25億2500万円を計上しています。

また、長期債務残高は2,547億円で前年度比53億8千万円減らしています。



## 利益の一部をまわせば運賃引き下げは可能

東葉高速鉄道は、長期債務を除けば超優良企業に匹敵する決算内容です。特に、輸送人員は、平成8年の開業時の想定として数年後に一日当たりの乗降客を上限14万5千人と見込んで出発しているのです。

この乗降客の増と低金利のもとで、営業利益も、純利益も過去最高の数字を示しているのです。しかも各自治体も参加する東葉高速鉄道自立支援委員会は、ステップアップ返済による約定償還以外に、20億円もの繰り上げ償還も行なっているのです。

日本共産党は、利益の一部をまわせば運賃引き下げは充分可能であると訴えてきました。ところが服部市長は、「勝田台駅から大手町まで310円」と公約していたのに、東葉高速鉄道の自立が最優先として、受け入れようとしません。

## 運賃引き下げに向け、粘り強く頑張ります

日本共産党は、国策として進められてきた東葉高速鉄道の長期債務は、建設費の90%以上が有利子貸し付けられたことで生まれたものであり、後からできたつくばエクスプレスのように、国の責任でさかのぼって無利子へ転換することを求めています。

尚、千葉県・船橋市・八千代市も今年2月、無利子への転換を求め、要望書を国土交通省に提出しています。

自立支援委員会による繰上償還（繰上返済）をやめさせることで、高すぎる東葉高速鉄道の運賃引き下げの財源を確保できます。

日本共産党は、10月からの消費税増税に反対するとともに、通学定期などに、消費税増税分を上乗せることを止めるよう求めてまいります。